

キャベツ



育苗

散水時に使用する



- **根っ酵素1000倍液** → 根を強くし、生長を促進。
 - **花咲くCa液1000倍** → 葉を厚くし、充実させる。
- 4日間隔で交互に、葉の上からタッパー散布する。

(10アール当り)

時期	方法	資材と施用法
地力作り	なるべく早い時期に (播種までに1ヶ月以上 おくこと)	<ul style="list-style-type: none"> ● ラクトバチルス600g → 排水よく、根の張りやすい肥沃な土を作る。 ● 堆厩肥1トン以上 (なるべく多く) ● 硫安80kg (もし通常の複合肥料なら、チッソ成分16kg程度) ※ 土壌pH: 6.5を目標として、もし土が酸性なら、地力作り時に畑の大将も投入して、土層全体を中和しておく。特に根コブ病の頻発する畑では、酸性の中和も大事。
整地時	整地・ウネ作り時に全面 散布、またはベッド上に 散布	<ul style="list-style-type: none"> ● 畑の大将<青> 60kg ※ この量の増減で土壌pHを調整する事。 ● マンゾク粒状50kg → 根の増強、生長促進、土壌病害・根コブ病対策。
定植時	定植前後の灌水時に	<ul style="list-style-type: none"> ● 根っ酵素500倍液 → 初期の根張り促進、根コブ軽減。
前半	葉面散布／灌水	<ul style="list-style-type: none"> ● 根っ酵素500倍液を葉面散布 → 根・生長の促進。 生育を強くするには、特に前半は根の力をつけることが大事。 ★ 特に生長が弱い場合、根コブが心配なら灌水施用で回復。 原液3～10リットルを灌水(300倍前後)。 ● 花咲くCa液500倍 → 生育を引締め、葉の病害対策。 チッソ過多、芯腐れが心配な時はカルシウムを葉面散布。
追肥	通常は、定植後30日、 結球前(作型により調節) ※ 同時施用可	● 硫安20kg
		● 畑の大将20kg
仕上げ	収穫前10日頃、 葉面散布	<ul style="list-style-type: none"> ● 花咲くCa液500倍 → 葉を厚く充実させ、旨味が増し、品質が向上。